

前憲法的国家の法理論

小関康平 著

国家と憲法——その関係から「国家像」を捉え直す

「日本の戦後憲法学において、「国家」は、成文（成典）憲法の対象——なかんずく、その規律対象——としてのみ、描かれることが多い。…（中略）…しかしながら、国家は、確かに成文（成典）憲法の（規律）対象ではあるけれども、他方で、それとともに成文（成典）憲法的前提条件として、なお厳然と存在しているものである」（本文より）。

本書は、現在の憲法学においてほとんど重視されていない「国家像」を憲法との関係から捉え直し、議論の枠組みを構築することを試みた論考。研究者や法学（憲法学）を学ぶ学生の方々にぜひ手にとっていただきたい一冊です。



◆目次

- 序章 問題設定と展開予告
- 第1章 国家の前憲法性と「法学的ビッグバン」の不存在
- 第2章 「継受の憲法理論」と国家構造における連続性メルクマール
- 第3章 法人意思と法人機関意思
- 第4章 国家の本質をめぐる三理論の素描と比較
- 第5章 「憲法的前提条件」とその諸例
- 第6章 法服従義務・憲法服従義務・憲法尊重擁護義務
- 終章 総括と今後の課題

◆著者略歴

小関 康平（おぜき こうへい）

法学者。昭和61年12月24日東京都生まれ。獨協大学法学部法律学科卒業（第30回獨協大学法学会賞受賞）。慶應義塾大学大学院法学研究科公法学専攻前期博士課程修了。日本大学大学院法学研究科公法学専攻博士後期課程修了。現在、国土館大学講師、千葉経済大学短期大学部講師など。博士（法学）。専門は憲法学。本書の基となった博士論文で学位を取得した。このほか、主要論文に「性表現裁判例にみる猥褻概念・猥褻性判断方法の変遷」Law & Practice Vol. 10 などがある。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	小関康平〔著〕 前憲法的国家の法理論 280頁 / A5判 / 並製 定価 3,500円(税別) ISBN978-4-86693-103-6 C3032
ご注文は、JRCへ FAX：03 - 3294 - 2177(TEL：03 - 5283 - 2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。